

## 発 刊 に あ た っ て

緑豊かな当市であっても、人目につかない道路や空き地等へ家庭ゴミ等の不法投棄が依然として後を絶ちません。このような行為により先人から受け継いだ素晴らしい環境を壊されることは悲しいものです。素晴らしい環境を後世に繋げていけるよう、今一度自然の恩恵を再確認することが必要ではないかと考えております。市としましても、不法投棄防止に関する普及啓発は今後とも行って参ります。

近年、地球温暖化問題等の環境問題は、毎日のようにマスコミで取り上げられて、様々な議論の的となっております。当市におきましても、平成 19 年 3 月には第 2 次地球温暖化対策実行計画を策定し、実行しております。市役所庁舎内においては照明の節電、夏場のクールビズ等の省エネ活動を行っており、昨年 11 月 16 日には「ノーマイカーデーいばらき～マイカー利用を控える日～」を県内一斉に実施する等、二酸化炭素削減に取り組んでおります。ノーマイカーデーは今後も実施していくので職員のみならず、市民の方々にも是非参加していただきたいと望んでおります。また、スーパー等でレジ袋の使用削減の為、マイバックを持ち歩くよう呼びかけております。

これまでの生活サイクルも環境に配慮した改革を余儀なくされている中で、一人一人が危機感を抱き、地球温暖化防止に繋がる省エネ・資源節約を今日からでも実行してもらいたいものです。

今年の 7 月には日本が議長国となり北海道洞爺湖サミットが開催されます。国際的にも大きな政治課題となっている地球環境問題は当然ながら議題に挙げられています。21 世紀最大の課題とも言われている地球温暖化問題については主要各国と様々な意見交換がなされるはずで、議長国としてリーダーシップを発揮し、今後の温暖化防止策の提案がなされることを願っております。サミット議長国の名に恥じないよう、全国を揚げて取り組んでいきたいものです。

本書は、平成 18 年度における当市の環境・清掃行政の状況をまとめたものです。皆様の環境へ対する理解を深めていただくため、又、行動のきっかけに役立つことができれば幸いです。

平成 20 年 2 月

北茨城市長 豊田 稔